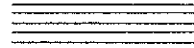
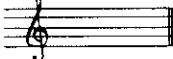


知っておきたい音楽のしくみ

一. 以下の問いに答えなさい。ただし、1は全音符で、3~7, 9, 11, 12は日本音名(日本語, カタカナ)で答えなさい。

1. g¹音(ドイツ音名)を、高音部譜表上に記しなさい。



2. ロ長調の調号は  である。

3. 変イ長調の平行調は _____ 調で、変イ長調の下属調は _____ 調である。

4. ホ音を根音とする減七の和音が所属する調は, _____ 調である。


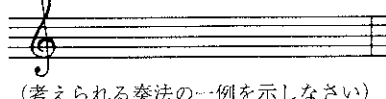
5. 重嬰へ音を導音とする和声短音階は, _____ 調である。

6. 変ニ長調の属音は, 異名同音で置き換えると _____ 音である(なるべく自然に表記できる音を答えよ)。

7. Es, Ges, A, の各音を全て含む調は, _____ 調である(ただし, 短調は和声短音階に限る)。


8. へ長調の和声長音階と, へ短調の和声短音階とで異なる音は, 第 _____ 音である。(数字1文字で答えよ)

9. 古典派の交響曲の第一楽章は, _____ 形式で書かれていることが多い。

10.  を実際に演奏するとおりに示すと  となる。

(考えられる奏法の一例を示しなさい)

11. 変ロ長調の楽曲をF管のホルンで演奏する場合, 演奏に用いる楽譜は _____ 調で記譜するとよい。

12.  は, 教会旋法のうち, _____ 旋法である。

(ただし, 全音符は終止音, □で囲んだ音は支配音であるものとする)

13. 4分の3拍子・4分の4拍子・4分の5拍子・4分の6拍子のうち, 複合拍子は _____ 分の _____ 拍子である。

14. a¹が440Hzであるなら, cis²は _____ Hzである。

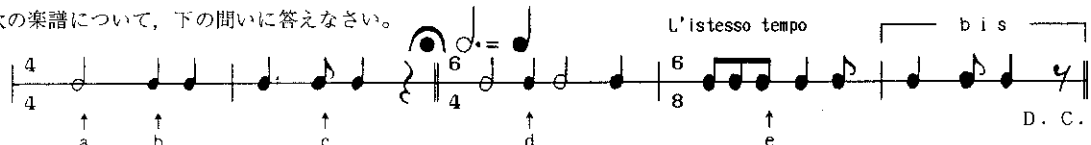
15. 増3度・増4度・増5度・減6度のうち, 全音階的音程は, _____ 度である。

二. 次の楽語は, 速度あるいは強弱に関係する語である。各楽語の意味を下の語群から選んで記号で答えなさい(記号の重複解答可)。

- | | | | | | | | |
|--------------|--------------------------|-----------------|--------------------------|----------------|--------------------------|-------------|--------------------------|
| 1. crescendo | <input type="checkbox"/> | 2. perdendosi | <input type="checkbox"/> | 3. accelerando | <input type="checkbox"/> | 4. tenuto | <input type="checkbox"/> |
| 5. veloce | <input type="checkbox"/> | 6. meno mosso | <input type="checkbox"/> | 7. allargando | <input type="checkbox"/> | 8. ritenuto | <input type="checkbox"/> |
| 9. rit. | <input type="checkbox"/> | 10. piu Allegro | <input type="checkbox"/> | | | | |

ア 次第に速く イ 次第に速く ウ 次第に遅くかつ弱く エ 次第に遅くかつ強く オ すぐに強く
 カ 次第に強く キ 次第に弱く ク 次第に速くかつ弱く ケ 次第に速くかつ強く コ すぐに弱く
 サ すぐに(前より一層)遅く シ すぐに(前より一層)速く ス 十分に音を保持して セ 同じ速さで

三. 次の楽譜について, 下の問いに答えなさい。



1. a~eの音について, 次に記す音価の比を答えなさい(例: a:b=2:1)。

a:c= _____ : _____ b:d= _____ : _____ d:e= _____ : _____

2. 楽譜の指示のとおり演奏すると, 全体で何小節の曲となるか。 _____ 小節

今回は趣向をかえて、実力診断を行なってみたいと思います。弱点が見出せるように、問題形式にします。主として「楽典」のほぼ全領域を網羅した(と思われる)問題を出題しますので、試してみてください。

解答および解説は次回に予定しています。なお、問題内容

については筆者の責任で行なっていますので、多忙をきわめる事務局へ、問題に関する質問等を電話で決してなされないように。また、特大号など紙面の関係等で休載が続いたことをお詫びいたします。

秋山 徹也

四. 次頁の楽譜について、以下の問いに答えなさい。

1. イ～ホ の音程を答えなさい。(例:長6度)

イ _____ ロ _____ ハ _____ ニ _____ ホ _____

2. ヘ～ヌ の転回音程を答えなさい。(例:短3度)(注意:元の音程が複音程の場合、元の音程を単音程に直して解答すること)

ヘ _____ ト _____ チ _____ リ _____ ヌ _____

3. A～D は何調か。(例:ハ短調)

A _____ B _____ C _____ D _____

4. P～Rの各音について、次に指示する音階を()の指定に従って[]内の譜表上に答えなさい。

(ただし、オクターヴ区分は考慮しないでよい。すなわち、表わしやすすい高さの音で記入してよい)。

Pを導音とする和声短音階 [ソプラノ譜表] (臨時記号を用いる。上行形のみ)

Qを属音とする長音階 [バス譜表] (臨時記号を用いる。上行形のみ)

Rを下属音とする旋律短音階 [アルト譜表] (調号を用いる。上行形下行形ともに)

5. ①～⑤の和音の種類を答えなさい。また[基本形・第一転回形・第二転回形・第三転回形]のいずれであるかを答えなさい。

(解答例)	①	②	③	④	⑤
増三和音					
第二転回形					

6. ①～⑤の所属調と和音記号を、転回形も区別できるように書きなさい。

[解答方法]上段…解答箇所^の和音が所属する調(前後の調関係から和音記号を考えるにあたって妥当な調であればよい)

下段…上段に記入した調における和音の度数(および転回指数) (※“芸大和声”式記号も可)

<解答例>	①	②	③	④	⑤
ホ長調					
V ₂					

7. Bの部分を、長3度低く、大譜表上に(ピアノの楽譜のように)調号を用いなくて、移調しなさい。

(以上 ピティナ 音楽理論 実力診断 不許複製)

The image shows a piano score with four systems, each containing three staves (treble, middle, and bass clef). The score is annotated with various musical symbols and letters:

- System A:** Features four measures grouped by vertical lines and numbered ①, ②, ③, and ④. The first measure has a *p* dynamic marking.
- System B:** Contains a complex melodic line in the treble clef with many slurs and accents. A *P* marking is present in the final measure.
- System C:** Shows a melodic line with a *Q* marking and a *R* marking. There are also *f* and *sf* markings.
- System D:** Includes a *b* (flat) key signature change at the beginning. It features *p* and *sf* markings, and a *X* marking at the end.